

村井 勇輝さん イスパニア学科4年生

留学先機関名：スペイン／トレド オルテガ・イ・ガセット国際教育センター

留学期間：2022年1月～2022年5月



進路に激しく悩む中、一度日本を離れ自分の好きなことを集中して思い切り勉強したいと考え、スペインで勉強することを決めました。かねてから惹かれていた学校で、期待以上に楽しくのびのびと勉強することができましたし、今まで外大で学んできたことが現地でも十分通用すると分かり自信になりました。

卒論や大学院進学を見据えた研究を行えたことで目標が明確になっただけでなく、スペイン、日本、アメリカ、プエルトリコの友人達と大好きなスペイン語でやりとりして過ごした楽しい日々は一生の財産になりました。



トレドと言えばこの景色、展望台からの町の眺め。



留学体験談

留学先を選んだ理由は？

以前同じ学校に留学していた上級生が巧みにスペイン語を話す姿に刺激を受け、同じところで勉強したいと思ったことがきっかけです。スペイン語の他、言語学や美術史などの専門科目の授業の両方を受講できるのも魅力でした。

留学先の大学のよいところ

非ネイティブ同士であっても英語ではなく積極的にスペイン語を使おうという雰囲気が好きでした。留学初日には「学内ではスペイン語しか話しません」という契約書にサインすることになります。スペイン語を口にすると舌も体も心も震えるように喜ぶので、一日中スペイン語で話せて幸せでした。



プエルトリコの友人とマドリードの日本料理店に行きました。

にサインすることになります。スペイン語を口にすると舌も体も心も震えるように喜ぶので、一日中スペイン語で話せて幸せでした。



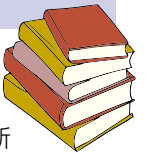
何度も通った大型書店、グラン・ビアのCasa del libro (直訳は「本の家」)。



夕暮れの光に照らされるトレドのアルカサル。学校の窓からの景色です。

一番の思い出は？

本、書店という空間、そしてスペイン語を愛する僕にとって現地の書店ほど心惹かれる場所はなく、マドリッドや旅行先で、できるだけ沢山の書店に足を運びました。スペイン語で書かれたフランス語やロシア語などの他言語の語学書や最新の日本の漫画のスペイン語訳など、日本では手に入れづらい本が買えて満足でした。家宝にしています。



留学して変わったことは？

留学前は言語好きが高じて言語学やスペイン語そのものにばかり目を向けていましたが、実際に現地に行くと、スペイン史や文学史、食文化や宗教の知識などスペイン人が持っている常識、いわば教養を広く持っていた方がさらに滞在を楽しめることを今更ながら実感しました。

夢・目標は？

スペイン語学・スペイン語教育学を研究しながら大学などでスペイン語を教える大学教員になることです。一生スペイン語やスペイン語圏とつきあっていきたいです。

にわか日本語教師デビュー

週に一度アルバイトとして同じ学校の学生向けに日本語や日本文化を教えていました。友達の名前をカタカナで書けるように一緒に練習したり、自分が好きな日本の音楽を紹介したり、折り紙をしたりと日本に少しでも興味を持ってもらえるように内容を考えました。



日本語の授業の様子。カタカナの発音を教えているところです。

国際交流センターからのお知らせ

行事予定

- 10月5日(水曜) AAIE春季短期派遣留学 募集説明会
- 10月10日(月曜)～10月14日(金曜) 2023年派遣 交換留学募集期間
- 10月26日(水曜) モスクワ春季短期派遣(オンライン)留学 募集説明会
- 10月31日(月曜)～11月4日(金曜) 2023年派遣 荻野スカラシップ募集期間
- 11月7日(月曜)～11月11日(金曜) 2023年派遣 認定留学募集期間

